

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービスこまがたけ	公表日	令和7年 3月 25 日
------	------------------------	-----	--------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		ドアを取り払い、物の配置を工夫して広い空間にしている為、スペースは十分に確保できていると思います。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		保育士、児童指導員、強度行動障がい研修受講者を適切な配置数で配置し児童の状況に応じてしっかりと対応できるようになっています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	43%	57%	活動場所はバリアフリーだが段差のある場所にはマットを敷いたり、注意喚起の声かけを行っています。	今後、バリアフリー化に向け努めていきたいと思ひます。必要に応じてスロープの設置などを検討していきたいと思ひます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		広々と動ける空間になっている。静と動で空間を分けることも可能です。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		個別の部屋はいつでも使用可能となっています。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		会議にて確認、共有を行っております。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		評価表や面談での意向確認などを参考に改善へ向けて取り組んでいます。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		会議の他、日々の振り返りの中で積極的な意見交換がなされ改善へ向けて取り組んでいる	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		100%		第三者による外部評価は現在行われていないが今後行っていくことが望ましいと思ひます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		様々な研修に参加し参加後に研修内容を共有しています	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		適切な支援内容でプログラムを作成し公表しています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		保護者、こどもとの話の中で、ニーズを把握し、職員との共有、協議の上作成しています。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		職員会議の中でしっかりと話し合い、検討の上計画を作成しています。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		全職員に内容を共有し、すぐに確認ができるようファイリングしています	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		通常のアセスメントの他に、別紙にて記録を行っています。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		アセスメントと各項目を踏まえた目標や支援内容を設定しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		会議や日々のミーティングの中で話し合った内容を児発管指導主任がまとめる形で行っております。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		様々な情報を元に児童の成長やニーズに沿った新しい活動を取り入れ固定化しないよう工夫しています	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		お子様の状況について保護者の方と話し合い、職員間で共有及び意見交換を行った上で計画を作成しております。個別、集団活動の内容、組み合わせについても職員間で共有し支援に努めております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		ミーティングの際、前日や最近の児童一人一人の出来事や状況を踏まえ、対応方法、担当職員などを確認、連携し支援を行っております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		支援終了後、児童一人一人についての行動や気持ち、全体の流れ、開始前のミーティングの内容に対する振り返りなどを話し合い職員間で共有しより良い療育に繋がるよう努めております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		時系列で記録し全職員が情報共有を行い、内容について確認、改善点等を話しあい日々の支援に活かしております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		定期的なモニタリングにて支援内容と児童の状況を確認し、保護者の方のご意見も踏まえながら見直しの判断をしております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		主に児発管が参加しておりますが、状況により対象児童の状況を理解している職員が同行しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	86%	14%	保健センターや保育所等にご協力いただいております。	各連携機関と積極的な連携体制を整えていきたいと思っております。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	86%	14%	支援に関して相互理解の為、児童の状況や日々の支援内容について情報共有をさせていただきます。	移行支援を踏まえた情報共有を図っていきたく思います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	57%	43%	就学時移行の対象児童がいる場合には情報共有を行う体制は整えております。	今後対象児童に関して支援内容等の情報共有を行って参ります。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	86%	14%	保健センターの研修会への参加、情報共有等の連携を図っております。	連携の強化を図り、支援の質向上の為助言を受ける機会を設けていきたいと思ます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	57%	43%	現在利用している児童については保育所と併用している為、事業所を通しての活動の機会はありませんが、今後対象児童がいる場合は機械の提供を考えていきたいと思ます	対象児童に関しては保護者様のご了承の元取り組みを考えていきたいと思ます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		送迎時や面談を通して現在の状況や今後の課題などについて情報共有を行い、共通理解へ向けて努めております。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	71%	29%	ペアレントトレーニングにあたる相談内容に関しては職員が丁寧に対応し、研修の案内があれば情報提供を行っていきます。	家族支援の関しての情報収集と提供に努めていきたいと思ます。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		利用契約時にご説明させていただいております。ご不明点がある場合も適宜お答えさせていただいております。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		定期的な面談を通してニーズの把握、ご意向の確認を行っております。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		伺ったご意向を踏まえた支援内容にて計画を作成しご説明の上同意を得ております。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		定期的な面談や送迎時に受けた相談内容を職員間で共有するなど適切な助言や支援に努めております。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		100%		現在行っておりませんが、需要に応じて開催を検討してまいりたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		相談などに対し迅速に対応できるよう職員間や連携機関と情報共有をしっかりと行っています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		月々の行事予定表やお便りの発行の他、活動内容によっては再度必要事項をまとめたお便りを発行し保護者様にお知らせしております。また、SNSでの発信も行っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		職員採用時雇用契約と守秘義務契約を結んでおります。書類の保管に関しては、職員事務所内の鍵付き書庫にて管理しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		保護者様のお話しをしっかりと伺った上で分かり易くお伝えするよう配慮しております。児童に対しても絵カードを使うなど本人が分かり易い方法にて意思疎通を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	86%	14%	地域の公共機関のスペースをお借りして児童の作品展を開催しております。	保護者様のご了承の元、様々な機会を検討してまいりたいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		各マニュアルを策定し事業所内研修や訓練を実施しております。内容に関しておたよりなどで保護者様へお知らせしております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		非常災害計画の策定、計画に基づいた訓練を定められた回数行っております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		見学時や利用契約を交わす際保護者様からお子様の状況を伺い、利用開始後も適宜確認しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	43%	57%	見学時や利用契約を交わす際にアレルギーに関して確認を行っております。	現在食物アレルギーがある児童は在籍しておりませんが今後必要な場合は適切に対応してまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		安全計画の作成、内容について職員と共有し研修や訓練の実施を行っており、しっかりとした安全管理の元、支援を行っております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		児童の安全確保についてお便りなどで周知を図っております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		ヒヤリハット事案について全職員間で情報共有と検証、再発防止に向けた取り組みの検討を行っております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		虐待防止に関する知識の向上のため定期的な研修の参加と、会議を通して支援の振り返りを行っております。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		利用契約締結時にご説明させていただいております。支援計画書へ記載しております。		